こんにちは　日本共産党市会議員　＜議会報告＞

玉本なるみ です

連絡先：日本共産党北地区委員会　☎075 - 432 - 3261　2021年1月②号

御薗橋の架け替え、周辺道路等、今年5月完成予定

御薗橋と周辺の道路が4車線になり、上賀茂神社前のロータリーの工事予定も写真のようになっており、完成は今年５月頃になるとのことです。神社前のバス停は臨時で加茂街道沿いに設置されており、「危険だ」とたくさんご意見をいただきました。新しいバス停は、以前操車場があった時、終点の降り場の所にできます。

私が市会議員になる前から、初めて取り組んだ運動が「御薗橋の架け替え」運動でした。議会でも何度も取り上げ、狭くて危険な橋でしたが、随分広くて大きな橋になります。

上賀茂神社前のロータリーの工事予定のイメージ図

敬老乗車証の対象が70歳➡75歳になるの？

京都市は財政難や寿命が延びているということを理由に70歳からの交付を5歳も遅らせようとしています。

年金生活になり、交通費の負担は大きい。「早く70歳になり、敬老乗車証が欲しい」というご意見をいただいてきました。本来は名古屋市のように65歳からの制度にすべきだと議論してきましたが、なんと75歳からにすることを検討していることが明らかになり、市民から「今のままの制度で残してほしい」と声が寄せられています。さっそく、敬老乗車証を守る運動に取り組んできた皆さんから、新しい署名用紙が作られ、集め出しています。京都市は、最初の一部負担金も所得に応じて、3000円～15000円も値上げをすると言っています。ぜひ署名にご協力ください。

市民の「宝物」敬老乗車証を守り、充実させるため、署名にご協力を！

敬老乗車証を守ろう！

なんと対象年齢を５歳引き上げ、７５歳へと検討中

敬老乗車証制度とは

「長年にわたり社会に貢献してこられた高齢者に敬意を表すとともに、様々な社会活動に参加し、生きがいづくりや介護予防に役立てていただくため、高齢者の福祉の増進に寄与すること」を目的に７０歳以上の方を対象に創設されたものです。

対象年齢５歳引き上げ、自己負担金も２倍弱へ

2020年12月23日付け京都新聞朝刊第１面において、「市への取材「市幹部によると」として制度改変の検討案として、①対象年齢は５歳引き上げ、②数年かけて段階的に引き上げる、③利用者の負担金は２倍弱とする、④③の実施は早ければ来年度実施、⑤IC カード化は今回は見送ることが報じられました。

もし報道が事実であれば、対象年齢５歳引き上げは制度の根幹に関わるものであり、75 歳になることへの市民のショックと大きな不安、怒りが広がっています。

京都市持続可能な行財政審議会では敬老乗車証制度など各種社会福祉の対象事業であるかのように例示し、「歳出構造の改革」を旗印に財政面から有無を言わさず大改悪しようとしています。

検討状況について、議会と市民に説明を

検討している案については、これまで、「議会にも報告し、市民にもお知らせする」と京都市は説明してきました。今回の報道内容について、市長は議会と市民に説明すべきです。

気軽に「まちなか」へ出かけられるよう敬老バスの改善を

公共交通整備・充実は、高齢者の生活を支えるだけでなく、健康増進による医療費・介護費の削減、商店街や観光の振興など「にぎわいのあるまちづくり」につながる総合的な効果が見込める。高齢者が生き生きと気軽に外出し、社会参加が出来る手立てとして、敬老パスがある。しかし、改悪が進み、利用者が限られてきている。「歩けるまち京都」の実現を視野に入れ、もとのように負担を無くし、また市営交通に加えて民間バスにも使えるよう、敬老パス改善の英断が京都市に求められる。

土居靖範　立命館大学名誉教授

敬老乗車証守ろう！連絡会
連絡先：年金者組合京都府本部　電話 075-761-9213 ／ 自治体要求連絡会　電話 075-211-1161

つぶやき：京都のコロナウイルス感染症のベッド数は？

これまで、京都府はコロナウイルスに感染した時に入院できるベッド数は720床としていましたが、医療現場では、「症状があっても入院できない」「自宅療養は急に悪くなり亡くなる方があり心配」という声がたくさん寄せられていました。ベッド使用率は毎日37%台と公表されていましたが、1月19日に変更の発表が京都府からありました。

コロナ感染用ベッド数は720床ではなく➡330床
重症者患者用ベッド数は86床ではなく　➡38床

市会議員団には「コロナ感染で高熱でしんどく、ご飯も食べられないのに入院ベッドがなく、不安」という相談がありました。ベッドはぜんぜん足りていません。ベッドはあっても看護師さんが不足している実態などが問題となっています。この間の医療や福祉の削減政策が、非常事態の時に対応しきれなくなっているということです。医療福祉の充実を進めましょう！

北区大宮今宮角の空き店舗で開催。「お米助かります！」と60人を超える学生さんが来られました。

北区では４つの大学があり、民主青年同盟の若者や地域の皆さんで、**学生さんへの食材提供**を実施されています。私もお話を伺いに参加していますが、学生さんもご両親も仕事が激減し、**「このままでは大学を退学しないといけない」**と状況は深刻化しています。学費の引き下げが急がれます。

アンテナ

フラワーデモ

1月19日のフラワーデモ（お花をもって、性暴力に反対の社会運動）は、コロナ禍で、ユーチューブでリモート開催され、視聴しました。

さっそく、学んだことを元に、京都市の生活安全基本計画案に対して、性犯罪対策の具体化について質疑をしました。強制性交は現在、約７割近くが、親族や面識のある方から受けていることを取り上げ、現在の防犯対策は、面識のない人からの対策が主流であることを指摘し、改善を求めました。また、あまりにも計画に性犯罪被害の記述が少ないことを指摘しました。市民意見募集が1月29日～3月1日まで実施されます。ぜひ、意見を上げてください。

左上：北原みのりさん、右上：牧野さん、右中段：山本潤さんなど

ホームページぜひ、ご覧下さい。　http://tamamoto-narumi.jp/